

県同教 2021 年度事務局会報告

5月10日、第1回事務局会が開催され、20年度事業報告(案)及び21年度事業計画(案)について協議しました。事務局会原案については6月2日開催予定の理事会を経て同日開催の第30回総会で審議される予定です。内容の一部を以下に紹介します。

【2020年度事業報告より】

冒頭、内田昌樹事務局長から、新型コロナウイルスの影響で第72回全人教大会の開催が延期、各部会予定の会議や研究集会等の開催が中止される中で以下のとりくみ告がありました。

- 広報部会**：会報誌を2回発行(3月中旬に第81, 82号。例年は3回発行)
- 同和教育資料作成部会**：20年度売り上げ実績(副読本冊数・手引書冊数)
『生きるⅠ』(小学校低学年用)118冊・29冊、『生きるⅡ』(小学校中学年用)118冊・26冊
『生きるⅢ』(小学校高学年用)124冊・35冊、『生きるⅣ』(中学校用)71冊・22冊
『生きるⅤ』(高等学校用)1621冊・80冊
- 進路保障部会**：「2020年度就職差別等実態調査報告書」説明会を上中下越3会場で実施
(就職差別撤廃県集会中止の代替)及び関係機関要請(予定どおり2回)実施
- 学校同和教育部会**：第72回全人教報告予定レポート検討会3回実施
(うち1回は高校レポート単独の検討会を新潟県央工業会場で開催。
予定は4回開催)
- 組織拡充**：加盟45団体(市町村は30/30)
- 地区同教関係**：20年7月に胎内市同和教育研究協議会発足。
21年3月に出雲崎町教育委員会が長岡市同教加盟。
※現況：上越地区同教(09年)、新発田市同教(09年)、新潟市同教(11年)、
長岡市同教(13年。21年3月から「長岡市・出雲崎町同和教育研究協議会」)、
柏崎市・刈羽村同和教育研究協議会(16年。18年7月刈羽村教委加盟)、
胎内市同教(20年)

県内に本社を置く企業が内定後の高校生に対して、人権侵害につながりかねない内容の「誓約書兼身元保証書」の提出を求めていたことが事業報告で触れられなかったことについて、「理事会、総会提案ではしっかり経過等を議案に盛り込んでほしい」ことを新高教として発言しました。また、地区・市同教組織の新たな設立は好ましいことであり、①地元にある差別事象を理解する場、②教職員にとって最も身近な学びの場、③小中高及び行政等の連携の場—であることを確認しつつ差別根絶の具体的実践につながることを望まれます。

【2021 年度事業計画より】

県同教事務局体制について

20 年度まで県教委加配により 6 人体制でしたが、21 年度は少人数学級増加のあおりを受けて 1 人減の 5 人体制となったことが報告されました。県の財政事情も背景にあることと推察されますが、このことで人権・「同和」教育の推進にブレーキがかかってはなりません。

第 72 回全国人権・同和教育研究大会について

2021 年 11 月 13 日～14 日に開催延期され、4 月の県実行委員会の開催意向伺いに対して、同 24 日に開催された全人教理事会で、①6 月中旬に再理事会を開催して一次判断を行うこと ②判断内容は、開催、規模・内容の縮小・変更開催、中止のいずれかであること ③開会行事及び分科会のオンライン開催は行わないこと一等が確認されたとのことでした。新高教として「オンライン開催を何とか追求してほしい」ことを要望しました。

2021 年度各種研究集会等の日程について

今後の新型コロナウイルス感染症の状況で変更含みですが、以下のとおり提案がありました。

名称	期日	開催場所
第 28 回新潟県同和教育研究集会	※第 72 回全人教大会兼ねる	上越・妙高両市
就職差別撤廃新潟県集会	6 月 8 日（火）	新潟市
部落解放第 37 回新潟県研究集会	10 月 16 日（土）	新潟市
第 2 回新潟県人権保育研究集会	9 月 11 日（土）	南魚沼市
「いのち・愛・人権」展	未定	未定
人権・同和教育啓発推進講座 （越佐にんげん学校）	未定	Web 開催検討中
部落解放第 53 回東日本研究集会	10 月 14 日（木）	高崎市(Web 併用)
部落解放第 66 回関東女性集会	8 月 21 日（土）	さいたま市